



Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

放射線だより

2021年4月
No.1 (毎月発行)
担当:馬場俊明

from Radiation House

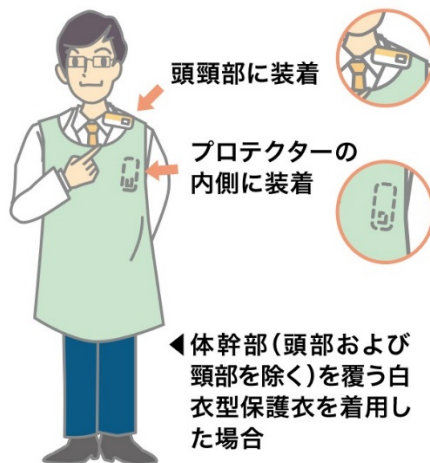
Topics

令和3年4月1日より、放射線診療従事者の被ばくを管理する線量限度が引き下げられます。

対象:水晶体の線量限度

150mSv/年 ⇒ **50mSv/年** (5年間100mSv)

放射線診療従事者として登録されている方には、ガラスバッジを配布しています。適正に装着されている方は正確な被ばく線量が報告されています。ご自身の体を守るためにも正確に装着しましょう。



くれぐれも2個ともプロテクターの外側や内側に装着することのないように!
頭部は外側、胸部・腹部は内側に装着し正確な測定を!

当院では不均等被ばくを測定しています。そのため、一人につき2個のガラスバッジが配布されています。ガラスバッジを見て、**頭部**と記されているものは不均等被ばく(プロテクターで防護されていない部位)を測定しているため、**プロテクターの外側**に付けるようにしてください。腹部や胸部と記されているものは、プロテクターの内側に装着してください。くれぐれも、2個とも内側や外側に装着することのないようお願いします。(文責:馬場)